

2012 年 11 月 15-17 日 第 5 回アフリカ開発会議 高級実務者会合

私たちが求めるアフリカと TICAD

= TICAD 共催者・市民社会双方向対話セッション =

報告者：マウンゴ・ムーキ
アフリカ市民協議会 (CCfA) を代表して

岡村善文・日本外務省アフリカ部長・大使、
アイリーン・マーシャル・世銀アフリカ地域上級パートナーシップ専門官、
池亀美枝子・国連アフリカ地域特別顧問事務所調整・アドボカシー・プログラム開発ユニット長、
ババカール・シセ・国連開発計画次席副業政官並びにアフリカ地域次席ディレクター、
フィオナ・ロンタン・アフリカ連合委員会平和・安全保障部政治オフィサー、
紳士・淑女の皆さま、

市民社会は、1993 年に TICAD プロセスが開始されて以来、このプロセスに活発に関わってきました。93 年当時は、市民社会の存在は見えにくく、参加も直接的なものになりませんでした。1998 年には、その参加は大きく拡大し、2003 年には市民社会が公式に会議に参画することができるようになりました。そして、今日、市民社会はこのプロセスになくてはならないものとなりました。このことは、私たちにとって、TICAD のイニシアティブの成功を示す重要な一里塚であり、私たちは TICAD 共催者の皆さまに対して、市民社会の参画を促進して下さったことを感謝いたします。

アフリカ市民協議会は、市民社会を代表して、TICAD がアフリカ連合、世界銀行、国連開発計画、国連および日本政府が共同で枠組みを作り、20 年間にわたって継続的にアフリカ開発を焦点化していることを称賛します。また、この開発フレームワークは私たちにとって、大変独特なものです。ここで、次のステージに進むために、TICAD IV 以降の評価をすることをお許しください。2008 年に横浜で採択された行動計画は過去 5 年の間実行に移され、大きな成果とともに達成されました。

2008 年以降、経済危機によって、私たちは大きな課題にぶつかり、厳しい後退を余儀なくされていると認識しています。世界中で食料やエネルギーの価格が高騰し、万余の人々が仕事を失いました。

私たちは銘記します：アフリカは、豊かな天然資源、豊かな生物多様性、鉱物資源、そして人的資源に恵まれた大陸です。これらの資源をうまく活用することで、アフリカは公平で持続的な開発を促進し、人々のためにこれらの資源を役立てることができます。また、アフリカの経済は現在、世界の他のどの地域よりも高い経済成長を実現しており、その成長率は 90 年代の 2 倍に及んでいます。しかし、こうした高い成長が 10 年もつづいた現在でも、アフリカの人々のほぼ半分が一日 1.25 ドル以下の収入しか得ることが出来ず、地方に住んでいる人々は地域の天然資源に依存した生活を続けています。アフリカの経済は平均で 5% の成長を続けており、世界で最も高い経済成長を遂げている 10 ヶ国のうちの 6 ヶ国はアフリカです。中には、2012 年に 7.5% から 11.1% の高成長率を上げた国もあります。しかし、その結果として、富裕層と貧困層の格差はどんどん顕在化しています。

アフリカの国々の多くが、食料を含め、日用品すら輸入に依存していることは大きな問題です。先進国と比較したとき、その技術や熟練における格差は著しく、極めて不適切なものです。また、日本の民間セクター (民間企業) は本来、アフリカの活力ある民間セクターの良いパートナーとして、アフリカの市場に参入することが期待されていますが、残念ながら現在、十分には姿を見せていません。

アフリカは過去何年にもわたって、多くの支援を受けてきました。ところが、この大陸はいまだに高いレベルの貧困、疾病、そして従属を経験しています。とくに気候変動の影響は大きく、天然資源や地域の生物多様性を破壊しています。一方で、日本は東日本大震災と津波、さらに福島原発事故を経験しました。ニューヨークでは、巨大な台風「サンディ」が近年、大きな被害を与えています。世界は厳しい状況にあります。アフリカの各地で、洪水や干ばつが多発しています。ジェンダー格差。若い世代の失業。難民、国内避難民、対外戦争や内戦、国内紛争の結果として、障害を負った人々。MDGs は十分に達成されていません。

私たち、アフリカ市民協議会に集う市民社会、そして日本の TICAD V NGO コンタクト・グループは、アフリカの開発が遅れていること、全ての努力を注入して開発を促進しなければならないことを想起します。それゆえ、私たちは、

TICAD V が以下のことを通じてアフリカの開発を促進することを求めます。

- 「アフリカ開発のための新パートナーシップ」(NEPAD) および「アフリカ・ピア・レビュー・メカニズム」(APRM) の提言に従い、民主的なガバナンスを支援する。これはアフリカにおいて大変必要な外国直接投資(FDI)を呼び込むことにもつながる。
- 地域の現実を取り込みつつ、研究への投資を含むテクノロジー・技術移転を促進する。
- 「アフリカ包括的農業開発プログラム」CAADP と「農業と食料安全保障に関するマポート宣言」に再度コミットし、このコミットメントを達成するための政府の努力を支援する。
- 農業セクターの多数派を構成する中小農民、特に女性を支援する農業システムの形成を支援する。
- アフリカの中堅・中小企業(Small and Medium Enterprises: SME)を強化するため、日本の民間セクター(民間企業)のアフリカへの進出を促進し、対等な形で市場を開く。
- 先進国と途上国の間で、貿易投資や人的・資金的資源の移動などに関する建設的な対話を行うことを支援する。
- 気候変動、生物多様性、環境に関する国際的なコミットメントについて、その効果的な実施を促進する。とくに、国連事務総長の「すべての人に持続可能なエネルギーを」イニシアティブ(SE4ALL)を推進するとともに、京都議定書で合意された全てのイニシアティブを実施することを支持する。また、他の二酸化炭素排出国にも、同様の行動をとることを呼びかける。一方で、生物多様性条約の愛知ターゲットと、生物多様性保護への拠出を2倍にするという「第11回生物多様性条約締約国会議」(COP11)での決定に関しても、同様の貢献を促す。
- アフリカ連合のエイズ・結核・マラリアに関するロードマップの実施など、アフリカによる保健に関するイニシアティブの実施を支援する。また、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康と権利)を促進し、特にアフリカの若者についてこれを焦点化する。ならびに、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(世界基金)や GAVI アライアンスなど、多国間の保健イニシアティブについて、全面的な支援を行う。
- アフリカのすべての人々が意味のある人生を送ることができ、主要な経済活動がもたらす利益を享受し、ともに、そこに参画していくことができるような、公平で公正な社会を実現するための主要な方法として、アフリカの食料安全保障の達成のためにより多くの資源を投入する。
- 2015年までに MDG のその他のターゲットを実現するため、またポスト MDGs の開発枠組みの形成にコミットするために、政府に対し技術的・また財政的な支援を提供する。
- TICAD が無償の基礎教育及び中等教育を促進することを歓迎する。TICAD は女子にとって適切な学校教育の環境を整備することを促進する必要がある。さらに、また若者に対する技術教育やスキルの取得への資金を増額することによって、雇用を創出し、アフリカの若者の生産性向上を促進する。
- 成長と安定に向けた環境の整備促進という観点をもって、災害の制圧や自然資源の管理のための国家レベルの対応基金の形成を支援する。
- アフリカ連合(AU)、東アフリカ共同体(EAC)、西アフリカ経済共同体(ECOWAS)、南部アフリカ開発共同体(SADC)や、「大湖地域国際会議」(International Conference on the Great Lakes)といった、既に平和と安定のために活動しているその他の政府間のイニシアティブに対し、財政面、技術面、実務面での支援を行う。
- アフリカ自身に依拠した民主主義(African owned democracy)を可能にするために、民主主義の構築、民主的機構の強化、司法制度の強化を支援する。グッド・ガバナンスと人権を促進し、腐敗と闘い、政治・経済・社会のすべての部面において透明性と説明責任を促進する。これは、アフリカの安全保障と安定を実現するための前提条件である。
- 意思決定において女性が参画し、役割を果たし、権利を行使することを支援し、守り、促進することを可能にする環境を構築する。公平な収入、土地の再分配の促進を進めるとともに、女性への暴力を絶対に許さず、女性の権利に関するアフリカ連合議定書(African Union Protocol on the Rights of Women)マポート行動計画、その他の地域や国際機関で決定した女性のリプロダクティブ・ヘルスに関する達成目標の実現を支援する。

本リストは最終版ではありませんが、これらは私たちが TICAD V で焦点をあてていただきたい主要な項目です。ブルキナ・ファソの政府および人々に対して、私たちがこの国に到着してから頂いた素晴らしいおもてなしに感謝して、締め言葉といたします。

以上